

# 「syobelTate」 V1.9

since 2022 by Arihiko

## 【ソフト紹介】

マウスをデスクトップ画面の左端に持っていくと、表示されるファイラーです。フォルダツリーとファイルリストのペインが上下に表示されます。

## 【インストール】

「syobelTate.exe」を任意のフォルダに置いて実行してください。インストールの必要はありません。ポータブルで作動します。

## 【使い方】

syobelTateを起動すると、タスクトレイにアイコン化されます。マウスをデスクトップ画面の左端に持っていくと、syobelTateのファイラーが現れますので、いろんなファイル操作を試してみてください。終了はタスクトレイアイコンを右クリックして終了を選んでください。

## 【機能】

フォルダやフィルのドラッグ&ドロップに対応しています。新規フォルダ作成や、パスファイル名をクリップボードにコピーできます。

## 【使用したコンポーネント】

本ソフトはDelphi5で作成し、windows11で動作確認しています。以下のコンポーネントを使用しています。

- ・フォルダ・ファイルパネルは、Ken Kamiyama(Kamiken)さんの TFolderView & TFileView & TComboView Ver.2.0.5 (Delphi3)を使用しています。
  - ・ドラッグ&ドロップおよびコンテキストメニューは、HISHIAMAZONさんの TContextMenuEx and TDropSourceEx component version 2.05を使用しています。
  - ・プレビュー表示パネルはikkiさんの「ImgLib」を使用しています。
  - ・ファイル検索機能は黒猿さんの「ファイル検索コンポーネント」及び David J Taylorさんの「TreeScanner V1.0.6」を使用しています。
  - ・ファイルをごみ箱へ送る機能は大坪保行さんの「Trashbin component version 0.2 for Delphi 2.x and Delphi 3.x」を使用しています。
  - ・GIF画像読み込みには Anders Melander さんの「TGIFImage version 2.2」を使用しています。
  - ・PNG画像読み込みには tarquinさんの「GLDPNG ver 3.4.3」を使用しています。
  - ・同期を取る機能は、河邦正さんのフォルダの内容を監視するコンポーネント DirMontr.pasを使用しています。
  - ・スプリットバーはBrad Stowersさんの「TdfsSplitter v1.07」を使用しています。
  - ・フォルダー選択ダイアログコンポーネントは、Hidemi Oyaさんの『RegisterComponents('Hidemi',[TFolderDialog]);Version 1.00 '97/09/20』を使用しています。
- 上記の皆様大変ありがとうございます。

## 【変更履歴】

V1.0 2022/01/09 初回原型。

V1.1 2022/01/09 syobelTateへのフォルダ・ファイルのドラッグ&ドロップでサブフォルダのファイルがフォルダ名になってしまっていたバグを訂正。  
syobelTateのフォームの×ボタンは数量と勘違いしやすいので、代わりに「隠す」ボタンに変更した。

V1.2 2022/01/10 ファイルリストの表示更新がうまくできてなかったバグを訂正。

V1.3 2022/01/10 フォルダ参照履歴、画像クイックビュー、ファイル全選択、クリップボードからフォルダ・ファイルの貼り付け、選択フォルダ・ファイルコピーの機能を追加。

V1.4 2022/01/14 クイックビューを固定パネルからマウス位置に表示する移動パネルに

- 変更。ファイルリストのファイルサイズ表示をKBからバイトに変更。
- V1.5 2022/01/17 ファイルリストに、フォルダ・ファイルのドロップができなかったバグを訂正。
- V1.6 2022/01/20 ファイルリストの昇順・降順の並び替えが、フォルダを変えた時に反映されてなかったバグを訂正。
- V1.7 2022/01/23 クイックビューパネルがマウスにかぶっていたので、かぶらないようにした。
- V1.8 2022/01/23 クイックビューパネルの位置がマウスから遠かったので近くした。
- V1.9 2022/02/14 クイックビューパネルをフォルダーツリー内の固定式(横100×縦100)に変更。